



2025年4月より男女共学化し、 「上田短期大学」となりました！

これまでの歴史と伝統を大切にしながら、未来と進んでいくため、まず「上田短期大学とは何か」を見つめ直すことからはじめ、「創ろう！未来の自分。創ろう！地域と共に。」のキャッチフレーズの想いを胸に、地域と共に歩みながら、新たな未来を築いていきます。



学長 小池 明

共学化は新しい船出

本号が届く頃は期末試験も終了し、ほっとする時。忙しい短大生活乗り切るには適時、心身の休養が必要、同時に長期の休暇ゆえにやり残したことの補填、後期の準備など夏休みを上手く使って下さい。処で前期の手応えは如何でしたか？二年生は卒研だけでなく社会人となる準備に余念がないのでは？一年生は大学生活を初めて経験し、高校までとはひと味違うという実感を得て戴けたら有難い。教科書一つにしても高校までのそれとは本質的に違う——或る学説には反対の学説が存在し得ることを前提に読んで戴きたい。当たり前のこととされていることも、一旦自分の頭で考えて納得する、或いはこれは違うと思考する。それを追求するのが大学での学問で、只管暗記して所謂「正解」を回答することが“学問では無い”ことを理解して下さい。

本学はこの4月に共学化しましたが、単に大学名が変わり男子が加わって1+1が2になったと言うだけではなく、私たちはこの際、新しい大学を創ったとの思いです。更に多様な人材が蟠集し、様々な人格、経験、能力、考えを互いにぶつけ合う。世界にはこれだけ価値観や異なる意見が存在することを知る。授業も絶対にその様な場で在るべきで、単に出席して受け身で講義を聴くだけでなく互いに意見、質問を出し合って新しい発見をする。高等教育では教員からだけでなく学生同士で学び合う。教員も皆さんから学ぶことが沢山ある。授業は学生と教員の双方で作上げるものです。質問をするのに躊躇、遠慮は“全く”必要ない。あなたの疑問は皆の疑問でもあることが多い。質問することは授業への貢献そのものです。学習支援センターも稼働をしています。大いに利用して下さい。新しい大学では1+1が3にも4にもなる。男子の入学が大きな触媒となって本学に素晴らしい化学変化を起こしてくれることを期待しています。男女の区別は学問には必要がないのです。新しい上田短大で皆、大いに人間としての成長に繋げて戴きたいと切に願っています。



幼児教育学科 Topics

学科紹介

学ぶことの土台には情熱が欠かせません。学生一人ひとりがもつ“得意分野”を活かすことで、保育者を目指すための学びは情熱を帯びてきます。幼児教育学科では、興味関心に即して選択できる3コース制で実践力の向上をはかるとともに、隣接する附属幼稚園での演習・実習、地域での多様な社会貢献活動等を通じて、学生の得意分野を開拓し、未来の幼児教育・児童福祉をになう保育人を養成しています。



幼児教育学科1年

やま かわ はるか

山川 遥さん(長野市立長野高等学校出身)

私は、自然保育に興味があり、豊かな自然を活かした保育について学びを深めたいと思い、上田短期大学に入学しました。上田短期大学には学生にとって学びの場となる「うらやま」があり、ここでは日常的な授業や課外活動を実施したり、子どもたちと一緒に遊んだりすることができ、他の短期大学にはない環境の中で保育・幼児教育が学べます。また、附属幼稚園が隣接していて、子どもの様子を身近に感じることができます。本実習の前にはプレ実習に行き、実際に保育現場を見て保育者の役割を理解することで、実習への自信につながると思います。

これからは、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状取得や、自然体験活動指導者資格等の資格を取れるよう勉学に励み、ボランティア活動にも積極的に参加し、2年間で様々な経験を積みたいと思います。そして、子ども一人一人に寄り添い、成長をサポートできる保育者になりたいです。



幼児教育学科2年

きく ち ゆう み

菊池 結美さん(小諸商業高等学校出身)

私が上田短期大学に入学を決めた理由は、地域の環境を活かした保育を深く学べるというところに魅力を感じたからです。

1年次には保育者になるための勉強や実習を通して、保育の基礎を培いました。その過程で痛感したのは、子どもの遊びの状況が変化し、特に屋外での遊びの機会が減っているということです。そこで、「学生である私に何か出来ることはないか?」と考え、2年次に進級するとすぐに、短大周辺の地域に在住する子どもたちを対象とした、日帰りで楽しめるデイキャンプを企画しました。イベント当日、子どもたちはとてもイキイキと遊んでいて、主催者としてとても強いやりがいを感じました。

学生がやりたいことを全力で応援してくれる本学だからこそできたことだと思います。

今後もデイキャンプを行う予定なので、そこでは前回の反省を活かし、より良い活動にしていきたいです。

残りの短大生活では、学生でいる今しかできない経験をたくさんして、保育者としての専門性を高めていきたいと思います。

子どもと学生・保育のすごさが見える部屋 ～26番演習室プロジェクトに寄せて～



幼児教育学科 准教授 関 裕子

ある日、数人の学生が、バイト先の食事処で泣き叫ぶ子どもの話をしていた。「何か、紙とか遊ぶものがあれば、子どもは変わるのに」「静かにしなさいって怒るだけじゃあね」「なにをしなければ、飽きて泣いて当たり前」。その会話の中から、子どもはいつも目で、手で、心を動かしながら発達していること、そして、発達するためには、さまざまな「環境」を必要とするという専門性の芽を見出し、保育の基本が学生達の当たり前になっていることを頼もしく思った。「環境」とは、人、モノ、自然、空間、時間等を指す。

昭和の時代、保育は保育者が「さあ、今日は〇〇するよ」と保育者が準備し、活動を進める保育者主導が中心だった。そのため、保育室は小学校の教室や体育館のような状態で、環境は整えられてはいなかった。しかし、平成、令和からは、子どもの主体的な学び(遊び)

を促す、環境を構成して自発的な遊びを中心とする保育・幼児教育に変わっている。例えば、丸いものがあれば、投げ、転がす。人形があれば、自分にしてもらったことを人形にもする、再現する。その結果、様々な身体機能や認知能力等が発達するというわけだ。

特筆すべきは、ここ10年余、0、1、2歳児の通園率が激増していること。特に、自由に身体を動かすことが難しい0歳児にとって、環境は重要である。生まれた時から有している、自分で自分を育てる力を支えるための方法、すなわち『環境を通して行う保育』を、養成校において具体的かつ、継続的に学ぶことは必須といえるだろう。

これらの学びを可視化し、確かなものにするべくスタートしたのが、26番演習室プロジェクトなのである。混沌の4月、がらんとした5月の部屋から、6、7月、各科目の学びと並行して、様々な環境が出たり入ったりし始めている。

1年生は、自分で自分をケアする「温かな親しみとくつろぎ」と「生き生きと活動する」空間創り。そして、紙一枚が学生の数だけ変化するすごさと2年生は、さらに深く、子どもの発達を促す保育教材(玩具)。これらが現在、部屋のメインとなっているが、果たして子どもにとって、この環境はどうか?子どものことは、子どもに聞くのが一番、ということで、操作性、安全性、耐久性等に関しては、今後、附属幼稚園の子どもたちや先生方に聴き、共に創る予定である。また、専門の五領域に加え、レジャージョ・エミリアやインクルーシブとのコラボも始まる。

このゼロをイチに、イチを無限大にする取り組みは、試行錯誤の連続だが、本学のキャッチコピー、『つくろう、未来の自分、つくろう、地域とともに』『保育人は未来を変える』が支えとなっている。



総合文化学科 Topics

学科紹介

教員の異動について、お知らせいたします。昨年度末をもって、小山泉先生がご退職になりました。また、井上奈智先生が母校の近畿大学へ転出されました。

新年度は、大学図書館に造詣の深い玉岡兼治先生を久留米大学からお迎えし、司書課程の講義を担当していただいています。また、学習支援センター担当として、日野陽平先生に着任いただきました。

新しい大学・学科作りに向け、学科スタッフは張り切っています。



総合文化学科 1 年

やまぐち りお

山口 莉央さん(松本美須ヶ丘高等学校出身)

私は、将来ブライダル業界に進みたいと考え、上田短期大学に入学しました。総合文化学科では、様々な分野の授業を受けることができ、私はブライダルをメインに学びながら心理学や秘書、芸術、文化学など多様な知識を学んでいます。特定の分野に偏らない豊かな知識を得ることで、多様化の進む結婚式のニーズに応えるため日々学業に励んでいます。

また、ブライダル研究サークルのMIP(ミップ)に所属しており、模擬挙式の企画などから、ブライダルについて実践を通して知見を広げています。

加えて、上田短期大学は学内外問わずボランティア活動が盛んです。私は今別所線沿線ガイドをつくるボランティアに参加し、上田電鉄や市役所の方々と一緒に活動しています。このような機会は、私たち学生にとって視野を広げられる良い経験です。

2年間の学校生活は短いものですが、その分密度の高い学習ができます。自身の成長につなげるため、1日1日を大切に歩んでいきたいです。



総合文化学科 2 年

ふじ おかりか

藤岡 理佳さん(豊科高等学校)

私は在学中に、心理・人間関係、ブライダルについて主に学んできました。

心理学に興味を持ったのは、中学生の頃から何となく自分と向き合い続け、自分とは何かを考え続けていたことからでした。心理学に興味を持ったのはそこからです。上田短期大学に入学し、心理学の授業で座学による知識のインプットや他人とのグループワークを通し、今までとは違う視点で自分と向き合うことができました。その結果、ぼんやりとしていた自己理解が輪郭を帯びて深まったように感じます。授業内で学んだストレス対処法も、自分にはどういったものが適しているのか自己理解を深めたことで知ることができました。

一方で、人間関係には苦手意識があります。他人との関わり方を学んでも、苦手意識を拭き切ることはなかなか難しいです。ですが、心理学の授業を受けていくうちに苦手な人との付き合い方を自分の中で見つけられました。それは、もしかしたら小さいものかもしれないけれど、今後私を助けてくれるであろう成長だと思いました。

来年度、ホテル業への就職が決まりました。新社会人となり、慣れない環境で働くことも少なくないと思います。大きなストレスに膝をつくこともあるかもしれません。ですが、授業で学んだことを思い出し、短大生活を糧にして、精一杯やっていこうと思います。

実践力のある司書育成のために

総合文化学科 専任講師 玉岡兼治

図書館司書課程2年前期の科目「児童と図書館」では、絵本の読み聞かせ実習、ブックトークの会の運営・実施、図書館のPOPづくり、児童コーナーで展開するサービス企画案の作成、と授業の中に実習を数多く取り入れています。絵本の読み聞かせ実習では、絵本の持ち方、ページのめくり方、といった基本的な事項から学びます。また、ブックトークの会の運営・実施実習では、自分の推薦図書について参加者に語るだけでなく、グループで役割分担を決め、会の運営方法についても学んでもらう機会を作っています。こうした諸活動を授業の中に織り込んで、実践力のある司書の育成を行っています。



学習支援センターがスタートしました！

総合文化学科 専任講師 日野 陽平

今年度6月から学習支援センターが本格的にスタートしました。学習支援センターでは、学習や生活に関する質問や相談を幅広く歓迎しており、学生の皆さんのサポートをしています。また、センター内には写真のような学習スペースがあり、質問・相談に加えて、空き時間に自由に学習をすることができます。私自身学習支援センターの担当教員として、学生の皆さんと同じ方向を向いて一緒に考え、一人一人に丁寧に寄り添う支援を心がけています。現在では1日に10名以上の来室がある日もあり、日々学生の皆さんのサポート



ができ私もとてもうれしいです。これからも学生の皆さんの力になることができますよう、精一杯頑張っていきたいと思っています。



上田女子短期大学から「上田短期大学」へ



本学は、2025年4月1日から校名を「上田短期大学」に変更しました。今年度から男女共学になったことを受けて、1973年の開学以来50年以上親しまれてきた「上田女子短期大学」から「女子」が取れ、新しい名前でのスタートとなりました。

本学のルーツは、1967年に地域の強い要望で設立された「本州女子短期大学」にさかのぼります。その後「上田女子短期大学」として長年にわたり女子教育に力を注ぎ、これまでに1万1千人を超える卒業生を送り出してきました。

そして今、新たに「上田短期大学」として新しい一歩を踏み出しました。これから入学される皆さんと一緒に、これまでの歴史の上に、新しい物語を築いていけることを楽しみにしています。



上田短期大学キャッチコピー

校名変更を機に上田短期大学のキャッチコピーを作りました。

創ろう！未来の自分。創ろう！地域と共に。

私たちはこれから、「上田短期大学」として新たなスタートを切ります。

これまで大切にしてきた歴史や伝統を引き継ぎながら、未来に向かって進んでいくために、まずは「上田短期大学ってどんな場所なんだろう？」というところから見つめ直してみました。

「私たちが大事にしていることって？」

「どんな学生に育ってほしい？」

そんな問いをもとに、何度も話し合いの場をもち、たくさん対話を重ねてきました。

話し合いの中で、少しずつ“上田短期大学らしさ”や、私たちが目指したい未来の姿が見えてきました。そして、いろんなアイデアが出されて、形になっていきました。

そうして生まれたのが、このキャッチコピーです。



テニスコートの整備しました！

幼児教育学科1年生の上野明人さんが発起人となり、長年使われていなかったテニスコートを活用しようと軟式テニスサークルが発足しました。サークルのメンバーで草木が生えて荒れてしまっていたテニスコートを整備して利用できるようにしました。5月から週1回の活動を楽しんでいます。



整備前の荒れたコート…



一生懸命 草木を掃除



整備完了！テニスするぞ！

創立50周年記念事業募金

2021年6月より募集を開始しました「創立50周年記念事業募金」は、2024年12月をもちまして終了いたしました。

募金総額は11,799,000円（企業39社、個人108人、団体その他3団体）となりました。

ご協力いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。

今後は新たな募金事業を検討し、学生の教育環境や学習活動のさらなる充実を図ってまいりたいと考えております。

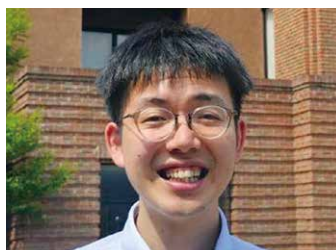
何卒、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



新任 教職員 紹介



総合文化学科
専任講師 玉岡 兼治
担当科目：図書館概論 他



総合文化学科
専任講師 日野 陽平
学習支援センター担当



図書館
平山 侑香

未来共創センター NEWS

学生たちの 地域貢献活動

地域の役に立ちながら学生自身も楽しめるイベントとなるよう、1から企画を組み立てています。今年は11月頃開催で計画が進めています。

2024年は上田駅前を
清掃しました！

クリーン大作戦



ウインターイルミネーション

今年も、丸子中央病院のウインターイルミネーションを本学学生がデザインします。また、病院での点灯に合わせて本学校舎もライトアップ予定です。楽しみに！



講座のお知らせ

詳しい申込方法は各申込先のホームページをご確認ください。

申込受付中

- 関 裕子 先生
「上田の未来をかたろう！
～”子どもも大人も大切にされる社会”とは？～」
日時：8月30日(土) 10:30～12:00
会場・申込先：まちなかキャンパスうえだ
- 海野 忍 理事「最新の情報技術」
日時：9月18日(木) 13:00～14:30
会場・申込先：上田短期大学

8月22日(金) 申込開始

- 岡村 綾華 先生
「表現から「つくる(デザインする)」を見つめる」
日時：10月11日(土) 10:00～11:30
会場：上田短期大学
申込先：上田市 生涯学習・文化財課

10月上旬 申込開始

- 大橋 敦夫 先生「なやし方言サミット」
※長野(な)、山梨(や)、静岡(し)の方言に関する
内容です。
日時：令和8年2月28日(土) 10:00～12:00
会場・申込先：まちなかキャンパスうえだ

地域活動チーム Instagram



別所がある
& ぼおい

そのほか、
様々な企画が進行中！
随時、未来共創センターの
SNSで発信しますので、
ぜひチェックを
お願いします！



Facebook



未来共創センターX
(旧 Twitter)

高大連携事業 第11回 うえだ七夕文学賞 (上田西高等学校と共催)

七夕、想い、願い、希望、祈り、信州上田を
テーマに作品を募集しています。



- 募集要項は本学のホームページに掲載しています。たくさんのご応募をお待ちしています。



前回の入賞作品
(二部抜粋)です

林檎畑縫うて千曲の流れ行く
(一般の部・俳句)

夏祭りあの子に逢いにゆく
僕の背を押す笹の葉の音
(高校生の部・短歌)

牙え牙えと晴れ間を抜ける月の光
胸に抱える白いアネモネ
(中学生の部・短歌)



総務課
合葉 晃



進路サポート課
山口 早樹



図書館
横澤 枝里子



未来共創センター
杉崎 絵里

後援会だより

会長ご挨拶



令和7年度 後援会 会長
若林 克哉

今年度、上田短期大学後援会の会長を務めさせていただくことになりました若林克哉と申します。1年間よろしくお願いいたします。身の引き締まる思いとともに、微力ながら本学と学生の皆さまの未来に貢献できるよう努めてまいります。

さて、上田短期大学は、若者が夢や志を見つけ、それに向かって一步を踏み出す大切な場です。学生たちが安心して学び、成長し、社会に羽ばたいていけるよう、私たち後援会はその一助となるべく、大学・教職員・保護者・地域の皆さまと協力しながら歩んでまいります。

また、ご存じの通り本年度より男女共学となり新たな第一歩を踏み出しました。新たに15名の男子学生を迎え入れ、より多様な価値観や考え方が交わり、学生たちは互いに学び合いながら成長していくことでしょう。時代の変化とともに学生のニーズも多様化しています。その声に耳を傾け、柔軟かつ力強く支援の輪を広げていくことが、後援会の大切な役割だと感じております。

今後とも、皆さまのご理解とご協力を賜りながら、学生たちの可能性を信じ、その背中をそっと後押しできるような後援会を目指して活動してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度後援会総会・セミナー

令和7年5月31日(土)開催

5月31日(土)に本学で総会とセミナーを開きました。総会では、事業報告や決算報告のほか、新しい役員の皆さんを紹介しました。

総会のあとには、『育てるひと、育つひとのための心理学 ～わたしたち、ヒトの子育てのひみつ～』というテーマで、多田幸子教授(幼児教育学科・学科長)が模擬授業を行いました。最初は小出真奈美専任講師によるアイスブレイクで和やかな雰囲気。その後、多田教授の話を通して、大きく育った保護者の皆さんが「育つこと」と「育てること」について改めて考える時間となりました。



令和7年度 新潟支部総会 開催について

毎年恒例の新潟支部総会を下記の通り行います。当日は後援会長をはじめ、学長・教職員も参加し、学生生活・進路状況についてご説明します。その後、本学教員より模擬授業を行う予定です。

新潟支部の会員以外で、出席を希望される方は、本学後援会事務局までご連絡をお願いいたします。

(☎ 0268-38-2352 ☒ kouenkai@jml.uedawjc.ac.jp)

皆様のご参加をお待ちしております。



日付

令和7年10月18日(土)
午前開催(予定)

場所

上越市

令和7年度 学生生活支援

原材料費の高騰などにより、学食の値上げをせざるを得ない状況となりました。しかし、学生の皆さまのご負担を軽減するため、引き続き後援会および同窓会が値上げ分の補助を行います。

また、物価高騰が続く中、後援会から学生全員にQUOカード(1,000円分)を配布いたしました。使い勝手の良いQUOカードは、多くの学生から好評をいただいています。

今後も後援会は、学生の皆さまの生活を支えるための取り組みを続けてまいります。

学校法人北野学園 上田女子短期大学 今後の募金事業について

令和3年6月より開始いたしました「創立50周年記念事業募金」には、多くの皆さまのご協力を賜り、誠にありがとうございました。昨年度は後援会より30万円寄附しました。

今後は新たな募金事業の実施を検討し、学生の教育環境や学習活動のさらなる充実を図ってまいりたいと考えております。引き続きご支援のほど、何卒よろしくお願いいたします。

親から娘へ

いま想いを語る



幼児教育学科 2 年

たなか み う はな こ
田中 美羽 / 母・華湖

娘はどちらかといえば控えめでおとなしいタイプ。三つ子ということもあり、特に小さい頃は三人でひとつのような感覚でした。高校進学あたりからそれぞれの「個」が顕著になり、進路で悩む頃には「三つ子の真ん中っ子」ではなくなっていました。昔から小さい子の面倒をよく見てくれる子で物心ついた時には保育士を夢としていましたが、成長するにつれていつの間にかその想いは下火に…。しかし、先生のアドバイスから再びその夢を追うようになりこの大学に進学しました。時にはつらく大変なこともたくさんあると思います。でもその経験が人を大きく成長させてくれます。今しかない学生生活、かけがえのない時間を過ごせるよう応援しています。

総合文化学科 2 年

あらい り か ひろと き
新井 梨華 / 父・啓釈

高校1年生の時、担任の先生から「図書館司書に向いてるのでは」という一言が娘の胸に刺さり、その言葉がきっかけで、進学する学校を選び始めました。いろいろある学校から上田女子短期大学を選んだ理由を、娘に聞いたところ、高校2年生の時、オープンキャンパスに何度か行き、模擬授業に参加させていただき、先生の授業の内容や、やり方に興味がわき、在校生とふれあい、学校の雰囲気自分が合っていると感じ、進路を決定しました。

娘が学校に対して、強い魅力を感じ、自分の未来をこの場所で築きたいと強く思ったことを初めて知り、私も感動しました。目標の図書館司書になるためには、これからも努力を重ねる必要がありますが、尊敬できる先生や仲間と切磋琢磨しながら充実した学校生活を送ることを願っています。



母校への入学

母から娘へ

幼児教育学科 1 年

こばやし か な み か
小林 夏菜 / 母・美香

小さな頃はパン屋さんになりたいと言っていた娘の夢が進学を決める時に「保育士」と自分と同じ夢を選んだことに、驚きと共に喜びを感じました。

娘と一緒に参加した模擬授業では、私が学生の時の授業とは学び方が違い「学びたい」と夢中になりました。娘がここで多くの事を学び、保育士として羽ばたいていく姿が楽しみにになりました。学生でしかできない経験を仲間と楽しみ、学び、充実した学生生活を送ってほしいと思います。

総合文化学科 1 年

いいじま まい く み こ
飯島 舞 / 母・久美子

母校である上田短期大学の総合文化学科に娘が入学し不思議な感慨を覚えました。私が幼児教育科で学んだ当時、女子学生ばかりの環境でしたが今年から共学となりキャンパスの雰囲気も少し変わったのでは無いでしょうか。娘が新しい仲間と多様な学びを楽しむ姿に自分の学生時代と重ねながらも、時代の移り変わりを実感しています。同じ場所で親子が学べる縁に感謝し、これからの娘の成長をととても楽しみにしています。



姉から弟へ

幼児教育学科 1 年

みやばら たく や き ほ
宮原 拓也 / 姉・希帆

私は幼児教育学科を卒業後、認定こども園に就職し、子どもたちの笑顔に沢山元気をもらいながら日々楽しく過ごしています。

小学生の頃から野球に打ち込んでいた弟から同じ保育の道に進むと聞きとても驚いたのと同時に、共学化した直後の男性が少ない環境への進学は少し心配でしたが、今では男女関係なく周りの仲間と学生生活を楽しんでいるようで嬉しいです。

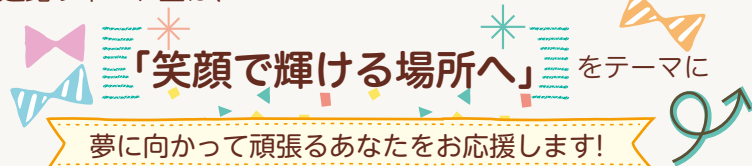
これからは楽しいことばかりではなく、大変なこともあると思いますが、自分で選んだ道を信じて頑張っていってほしいです。

同窓生優遇措置について

本学の卒業生、在学生の子・孫および兄弟姉妹で、入学試験を受験して合格した方の入学に際しては、**入学金の全額(250,000円)を免除**します(R6年度実績12名)。ただし、推薦特待生・SG特待生・資格特待生の合格者には、同窓生優遇措置は適用されません。

詳細は本学入試広報課までお問い合わせください。

進路サポート室は、



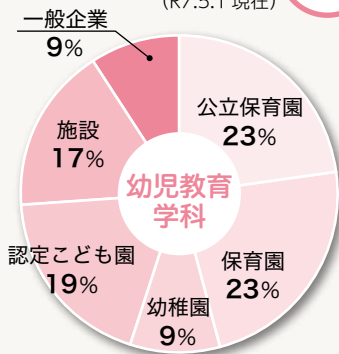
夢に向かって頑張るあなたをお応援します!

幼児教育学科

令和6年度就職率

97.9%

(R7.5.1現在)

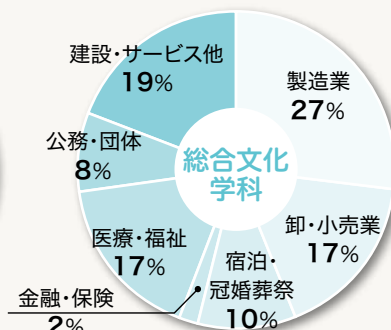


総合文化学科

令和6年度就職率

100%

(R7.5.1現在)



公務員試験合格者

・公務員保育士6名、地方公務員2名 合格

※就職率=就職希望者に占める就職者の割合

公務員試験対策講座

両学科 1年次夏季～2年次5月

公務員採用試験(行政・保育士)合格を目指し、1年次前期から対策講座を開講しています。

1年次

6月・7月

公務員講座A

9月～1月

公務員講座B

2年次

4月・5月

公務員講座C

6月～

試験本番



公務員講座Aで、数学の基礎を徹底的に学び、講座Bからは、公務員試験対策用テキストを用いた専門講師による試験対策に入ります。当講座は、公務員試験対策に限らず一般企業や私立園の採用試験(筆記試験)対策にも繋がります。今年度は、入学生の約半数が講座Aを受講しました。

進路セミナー 総合文化学科 1年次 6月～



就職活動に必要な知識やビジネスマナーを身につけることを目的に、毎年6月から進路セミナーを行っています。内容は、業種・職種研究、事業所見学・企業交流会への参加の他、応募書類の書き方、メールの書き方、社会人の身だしなみ講座などを計画しています。今年度も2027卒学生対象のセミナーが始まりました。今後もそれぞれの学生が目指す進路の実現に向けて、サポートしていきます。

施設合同説明会 幼児教育学科 2年次 7月

保育士資格を活かす職場は、保育園や幼稚園、認定こども園に限られません。児童養護施設、児童発達支援、放課後等デイサービス、乳児院、障がい者施設など、様々な福祉施設の現場においても保育士職が求められます。

今年度は、7月8日に3園(児童養護・児童発達支援・障がい者施設)の先生方にお越しいただき、多様な施設での働き方を知る「施設合同説明会」を行いました。施設の種類の異なっても、それぞれの職場で求められることは、利用者さんの気持ちに寄り添うこと。当日は、日々の仕事内容、やりがいや苦労について、お聞きしました。幼児教育学科の2年生は、今後の進路選択に向けて、真剣に耳を傾けていました。

ジョブトーク 総合文化学科 1年次 11月

毎年、上田職業安定協会との共催で、上田市近隣の企業を招いた交流会を企画しています。昨年度は25社が来学し、社会に出て働くこと、やりがい、現在の担当業務などについてお聞きし、自身の就職活動・インターシップ先の選択に役立てました。当日は対話形式のイベントでしたが、リラックスした雰囲気の中で、学生たちは積極的に質問し、情報収集しました。



資格NEWS

幼児教育学科

2年間で取得可能な資格は、幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の他、介護職員初任者研修、レクリエーション・インストラクター、幼児安全法支援員、自然体験活動指導者(NEALリーダー)資格、准学校心理士があります。

令和6年度資格取得者

資格試験名	取得者数
幼稚園教諭二種免許状	44
保育士資格	49
介護職員初任者研修	3
レクリエーション・インストラクター	12
幼児安全法支援員	16
自然体験活動指導者	12
准学校心理士	17

総合文化学科

資格報奨金制度を活用し、多数の学生が資格試験にチャレンジし、合格しました。

※資格報奨金制度とは・・・所定の資格(R6年度対象:11資格)に合格すると学長より報奨金が授与されます。

令和6年度資格試験合格・資格取得者

資格試験名	合格者数
MOS Expert	1
MOS Associate	2
パーソナルキャリアリスト検定	9
日商簿記検定3級	2
秘書検定2級	8
秘書検定3級	2
ピアヘルパー	7
ブライダルコーディネート技能検定3級	2
アソシエイトブライダルコーディネーター認定試験	7
医療事務技能審査試験	8



編集後記

最近、生成AIについて耳にする機会が増えました。私自身も使い始めてみたのですが、少しネタを与えるだけで、本当に素晴らしい文章を作ってくれることに驚いています。その一方で、「これって本当に正しいの?」「自分で考える力が失われてしまうのでは...?」と、少し不安を感じることもあります。便利さの裏にある課題についても、しっかり向き合っていきたいと感じる今日この頃です。



学校法人 北野学園
上田短期大学
幼児教育学科／総合文化学科

〒386-1214 長野県上田市下之郷乙620
TEL0268-38-2352(代)
FAX0268-38-7315
E-mail info@ueda.ac.jp



Instagram



←上田短期大学通信の
バックナンバーはこちら

ホームページ <https://www.ueda.ac.jp>